

## 「ありがとう」という言葉を大切に

空知生徒指導研究会 会長 富田 忠章  
(滝川市立江陵中学校 校長)

教員のスタートは、昭和54年4月、北見工業高等学校だった。当時北見市は人口11万都市。東急デパート、東急ホテル、JR北見駅等の新築ラッシュ。オホーツクの玄関で華やいでいた。しかし、当時はコンビニも無い。勿論、携帯電話も無い。夜の10時以降はスーパーは閉店。街のネオンだけは何か明るいの。

仕事や部活動で夜の9時を過ぎる帰宅も度々だった。「富ちゃん」、「今晚、我が家で飯、食うかい?」と太田先生が声をかけてくれた。あるときは、海老名先生や岩崎先生が声をかけてくれた。次の日は林先生や白崎先生と……。当時は人の家を渡り歩いてきたような気がする。なんと嬉しい声かけ。でもよく、怒られたなあ。怒られながら先輩にすぎっていた毎日。料亭の味ではないが、外食では味わえない家庭料理。それぞれの家庭で味が違うので、一石二鳥だ。お酒を飲んだときにはそのまま一泊して学校へ。とてもありがたかった。今でも時々、当時のことを思い出す。

実家に帰省した際に母親に話すと、「これ持って行きなさい」と預かったお土産を渡すと今まで以上に、付き合いが深まった。この夏、岩崎先生(妻は6年前に逝去)からサクランボが届いた。当時のことを改めて思い返した。今、思えば何と恥ずかしい、生活だったことか。今度は私の恩返しの番だが、なかなか実現できない。

その頃、毎月(21日)に校長室に入れるのが楽しみだった。12月は3回も校長室に入れた。当時の給料は現金手渡し、給料支給日は誰も笑顔。お休みの先生はいなかった。校長室に入り「校長先生、ありがとうございます」「〇〇さん、ありがとうございます」

と校長先生・事務職員にお礼を言って事務職員から職員一人一人に手渡された。

結婚後、自宅に帰って給料を妻に渡すのも楽しみだった。妻から「ありがとう」という言葉があったからだ。これもこころ良かったことを覚えている。今、給料日に我が家にはその言葉はない。よく考えてみると「ありがとう」という機会・場面が少なくなってきたのだと思う。「はい」・「ありがとう」・「ごめんなさい」を題材に議論してみてもいい。

寂しい時代になったものだ。余裕が無くなったのか。気がつかないのか。いずれにしても、私たちは教育のプロ。できるようにするのが教師なんだと自答する。いつの時代になっても大切なこと、伝えることはある。直接的に伝えるのか、間接的に伝えるのか、どう伝えるのか。もう一度伝えたいこころ良い言葉。「はい」・「ありがとう」・「ごめんなさい」……という言葉。何気ない言葉であるが、子ども同士、同僚同士等々と上下に関係なく大切にしたい。

さて、毎年開催されている空知生徒指導研究大会も今年で第36回を迎えます。教育現場で日々子どもたちと接する先生方、保護者の対応に苦慮する先生方が、それぞれの実践を持ち寄り、抱える悩みや課題を共に考える研究大会です。是非、多くの方々に参加していただき、これからの指導の一助になればと願っています。

### 平成30年度 空知生徒指導研究会役員一覧

(創設:昭和57年)

顧問	松山 徹 吉永 洋	月形町教育委員会(教育長) 岩見沢市青少年センター(所長)	事務局	《事務局長》 三國 均	岩見沢市立明成中(教頭)
会長	富田 忠章	滝川市立江陵中(校長)		《事務局次長》 長嶋 義博	岩見沢市立美園小(教諭)
副会長	奥村 昌利 杉原 賢 高岸 春二	岩見沢市立中央小(校長) 三笠市立三笠中(校長) 美唄市立峰延中(校長)		《事務局員》 藤谷 一史 熊谷 真吾	岩見沢市立北村小(教諭) 岩見沢市立光陵中(教諭)
監査	鈴木 敏之 加藤 玲子	北竜町立北竜中(教諭) 美唄市立美唄中(養護教諭)			
常任理事	渡辺 禎 岡崎 正典	滝川市立江陵中(教頭) 秩父別町立秩父別小(教頭)			

\* 空知管内 小学校 66校 中学校 43校 児童生徒数 17,841人(小11,602名、中6,239名)  
教職員数 1,902人 《平成30年5月1日現在》

## 《 第 36回 研究大会のご案内 》

毎年、この時期に実施している当研究会研究大会も36回目を迎えることとなりました。

今回は、岩見沢市立光陵中学校の小林 広 先生から実践発表をしていただきます。実践発表をもとに、生徒指導に関わる交流を行います。また、午後からは「教育相談の機能」など確認する演習の時間を予定しています。講演会は、(株)押谷ファーム代表 押谷 行彦 氏にお話しいただきます。講師の押谷氏は、兵庫県出身、大阪の食品流通の企業に就職されるも阪神淡路大震災を契機に道内での就農を志されます。26歳で北海道へ移住され、現在は長沼町にて科学的なアプローチを取り入れた栽培・管理に加え、農業の新たな可能性に挑戦されています。当日は「ゴール設定と行動計画～その戦略・作戦・戦術 そして人材育成～」と題してご講演いただきます。

会員の皆様のみならず、興味のある方なら誰でも参加できます。参加費は無料です。

午前のみ、午後のみ参加も歓迎します。多くの先生方の参加をお待ちしております。



1. 期 日	11月 29日 (木)	
2. 会 場	岩見沢市立教育研究所 (岩見沢市緑が丘2丁目34番1号 教育大学敷地内 ☎ 0126-22-4412)	
3. 日 程	9:00 ~ 9:30	受 付
	9:30 ~ 9:40	開 会 式
	9:50 ~ 10:50	実践発表 (提言)
	11:00 ~ 12:00	研究協議①
	12:00 ~ 13:00	昼食・休憩
	13:00 ~ 14:10	研究協議②・演 習
	14:20 ~ 15:50	講 演
	15:50 ~ 16:00	閉 会 式
4. 研究主題	『効果的な生徒指導を進めるための生徒理解の在り方』	
5. 実践発表	小 林 広 先生 (岩見沢市立光陵中学校)	
6. 講 演	『ゴール設定と行動計画 ~その戦略・作戦・戦術 そして人材育成~』 (株)押谷ファーム代表 押 谷 行 彦 氏 (長沼町)	



**参加費：無料**

会員の有無に関わらず  
興味のある方ならば、  
どなたでも参加できます

### 《昨年度の研究大会 参加者の感想から ~昨年度：第35回研究大会 参加者27名~》

- ◇ 写真付きのスライドがとても分かりやすかったです。どんな学校でも真似して実践できそうな内容で、とても参考にになりました。実践発表、大変お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。(中学校)
- ◇ 具体的な事例も含めていたので、指導のイメージがつかみやすかった。現任校でも「つく指導」を強調しているが、やはり大切であることを認識できました。(中学校)
- ◇ 演習では、思春期の子どもの「キレル」理由について理解できた。身体の成長によって「キレル」ことは避けられないことだと思ったので、こちらの努力で限りなく減らすことができそうなことも分かったので、良かったです。(中学校)
- ◇ いくつかのテーマについて考える事を通して、自分が普段接している生徒をイメージしながら考える事ができました。自分が生徒に負の感情を与えていることがあるのではないかと見直そうと思いました。(中学校)
- ◇ 講演を聴くというのは人との出会いと同じです。良い出会いの場を提供いただきありがとうございます。(小学校)
- ◇ とても感動的なお話で大変良かったです。今年度始初めて教育界以外の方のお話をうかがう機会となりましたが、大変勉強になりました。異業種の方々の参加も良かったです。(中学校)
- ◇ 講演のみの参加でしたが、「来て良かった」と思いました。考えさせられること、なるほどなあと思うこと、たくさんありました。ありがとうございました。(小学校)



## 【 会員の皆様へ 】

会員数 78名 (平成30年5月1日現在)



日頃から本研究会の活動にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。お陰様で空知生徒指導研究会も発足以来37年目を迎えました。この度、「第36回空知生徒指導研究大会」を上記の通り開催することとなりました。つきましては、時節柄校務多忙のこととは存じますが、是非ご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。

また、本研究会は、会員の皆様の会費をもとに活動しています。年会費(研究大会参加費として領収書を発行します)の納入をお願い致します。研究大会に参加される場合は当日納入下さい。研究大会に参加できない場合は、最寄りの事務局員まで会費をお届け頂きますようよろしくお願い致します。今後とも本研究会の発展のため、新会員加入への呼びかけをよろしくお願い致します。

なお、年会費は一般の方の「1,000円」、管理職の方は「2,000円」となっています。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

《空知生徒指導研究会 お問い合わせ先》 Mail Address: [kuseiken392@yahoo.co.jp](mailto:kuseiken392@yahoo.co.jp)

事務局 岩見沢市立明成中学校(☎0126-24-3485) 三國まで(空生研 事務局長)